

事前申込

桑袋ビオトープ公園

ニュースレター



8・9

夏休み合併号 2025

しまいけ うき島の ぼ かい掘り体験

9月21日(日) ※荒天の場合、23日(火)祝に延期

10:00~12:30

対象 小学生以上(小学2年生以下は保護者の申込も必要)
定員 50名(抽選) / 参加費 無料
申込締切 9月2日(火) 必着

かい掘りって?

水を抜いた池で生きものを捕ったり、池底に溜まったヘドロをとったりすることです。桑袋ビオトープ公園では、ヘドロをとる前に、網を使って生きものを探し、生きものの調査もします。

事前申込 の申込方法については、中面をご覧ください。

事前申込

どろ 泥んこ ほ ハス掘り体験

10月12日(日)、13日(月)祝

両日とも14:00~15:30

泥の中からハスのレンコンを掘り出そう! ※レンコンはお持ち帰りできません。

対象 4歳以上(小学2年生以下は保護者の申し込みも必要)
定員 各30名(抽選)
参加費 無料 / 申込締切 9月24日(水) 必着

4コマ劇場



ムモントックリバチ

お知らせ

- ・天候や感染症等の予期せぬ事態により、プログラムが変更・中止となる場合がございます。
- ・プログラムが中止となった場合、ご応募いただいたハガキ代等の返却はいたしません。あらかじめご了承ください。

こうえん 公園で季節の移り変わいを感じよう！ なつへん ～夏編～

みなさんはどんな時に季節の移り変わいを感じますか。公園で働くスタッフは、公園のいろいろな生きものから季節

の移り変わいを感じています。いったいどんな生きものから感じているのか、夏を例にご紹介します！

しよか 初夏～夏のはじめ～

6月に入ると見られるようになるのが、「ネジバナの花」と「ハンゲショウの色付き」です。

ネジバナはその名の通り、小さい花の列が「らせん状にねじれている」のが特徴です。花によってねじれ具合は違うので、形の違いを観察する楽しみもあります。ハンゲショウは葉っぱが白く色付き出します。目立たない花の代わりにこの白い葉が虫を誘い、花の受粉を助けると言われています。また、6月の終わりに近づくと「ニイニゼミ」が鳴き始め、8月頃まで鳴声を聞くことができます。



ハンゲショウ



ネジバナ



ニイニゼミ

まなつ 真夏

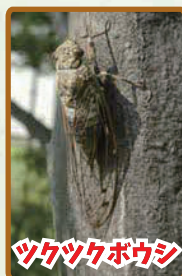
7月に入り真夏になると、「アブラゼミ」「ミンミンゼミ」「ツクツクボウシ」が鳴き始めます。アブラゼミとミンミンゼミは8月まで、ツクツクボウシは10月まで鳴いていることもあります。ニイニゼミを含め4種類のセミが鳴く7、8月の公園は、正に夏真っ盛りといったにぎやかさです。また、春には幼虫だった「ショウリョウバッタ」も8月には翅が伸びて成虫となり、大ジャンプを見せてくれます。



アブラゼミ



ミンミンゼミ



ツクツクボウシ



ショウリョウバッタ

お 夏の終わり

9月に入るとアブラゼミとミンミンゼミの声は聞こえなくなり、ツクツクボウシの声だけになり、夏の終わりを感ずるようになります。その頃には「ツユムシ」「エンマコオロギ」「ホシササキリ」といった鳴く虫が見られるようになり、公園に秋がやってきます。



エンマコオロギ



ホシササキリ



ツユムシ

このように、スタッフは公園のいろいろな生きものから季節の移り変わいを感じています。皆さんも、季節が変わる時期にどのような生きものが現れるのか気にしてみると、毎日がよりたのしくなるかもしれませんよ。

また、スタッフはその年に初めて見た生きものを記録しています。過去の記録と見比べることで、去年と比べて早かった、遅かったというのが分かるので面白いですよ。

【解説員 濱崎】